

学習内容と到達目標

- ☞ 1. 調査への協力をお願いし、質問に答えてもらう。
 - 2. アンケートの答え方について説明する。
- 前半：[1. INTRODUCTION] ～ [5. PAIR WORK] (インタビューの仕方)
 後半：[6. LISTENING] ～ [8. LISTENING] (説明の聞き取り)

指導のポイント

1. INTRODUCTION 6課の [5. SPEAKING] でした練習を再度行い、埋込疑問文や「～つもりだ」、「～たことがある」や「～のではないか」などの表現が定着しているか確認する。やり方としては、最初に「山川さんたちの研究計画を自分の研究計画と思って説明してください」と言い、学習者に1人で説明させてもいいし、6課の [4. LISTENING] のように教師の質問に答えながら説明する形でもいい。

2. SPEAKING まず、6課で山川さんが親にどんな質問をすると話していたかを思い出させる。その後で、この絵のように、通りすがりの母親らしき人に声をかけてインタビューをするというロールプレイをさせる。このロールプレイはこれから学習する敬語の意識化を目的したものなので、あまり時間をかけなくてよい。

3. LISTENING ①で内容の聞き取りをさせた後、直前のロールプレイでの自分の話し方と山川さんの話し方がどう違っていたかを考えさせる (必要なら、再度 CD を聞く)。その後、②でスクリプトをじっくり読ませ、表現を確認する。

4. FOCUS 最初に助動詞「(ら)れる」を使った尊敬語の作り方を練習し、次に補助動詞「お～になる」を使った尊敬語の作り方を練習する。そして最後に「いらっしゃる」や「召し上がる」などの敬語動詞を学習する。

⑤では3種類ある敬語表現のいずれかが使われた文を聞き、意味を正しく理解できるか確認する。⑥では「(ら)れる」が使われた文を聞き、それが尊敬の意味で使われているのか、可能の意味で使われているのか、それとも受身の意味で使われているのかを判別する練習。

| | <u>尊敬</u> | <u>受身</u> | <u>可能</u> |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 五段動詞 | 読まれる | 読まれる | 読める |
| 一段動詞 | 食べられる | 食べられる | 食べられる |

5. PAIR WORK [2. LISTENING] でしたインタビューのロールプレイを、この下で学習した表現を意識しながら再度練習する。

6. LISTENING ここから後半。①では「お～ください」「ご～ください」という敬語表現を使った説明を聞き、内容が理解できるどうか確認する。その後、②でスクリプトをじっくり読ませ、表現の確認をする。

7. FOCUS

スル動詞とそれ以外の動詞で2種類の表現があることさえ理解すれば、難なくできるはず。

8. LISTENING

旅行先（韓国ソウル）のホテルで旅行社の人がしている説明を聞き、自分が何をしなければならないかを聞き取れば OK。